



# 2017年3月期決算説明会

上河内岳（作沢から）



## 特種東海製紙株式会社



# 目次

|                               |       |                           |       |
|-------------------------------|-------|---------------------------|-------|
| ・ 会社概要                        | (p1)  |                           |       |
| <b>2017年3月期連結決算概要</b>         |       | <b>第四次中計の成長戦略</b>         |       |
| ・ 期末連結業績実績                    | (p2)  | ・ 成長機会創出                  | (p14) |
| ・ 営業利益の増減要因(2017年3月期)         | (p3)  | <b>紙を超える高機能性シート分野への挑戦</b> |       |
| ・ セグメント情報                     | (p4)  | ・ 高機能な合成繊維のシート化           | (p15) |
| <b>第三次中期経営計画を振り返って</b>        |       | ・ セルロースナノファイバーのシート化       | (p16) |
| ・ 第三次中期経営計画振り返り(営業利益)         | (p5)  | ・ 高機能性シート分野への挑戦(ガラス合紙)    | (p17) |
| <b>2018年3月期連結業績見通し</b>        |       | ・ 高機能性シート分野への挑戦(ラミネート)    | (p18) |
| ・ 2018年3月期連結業績見通し             | (p6)  | <b>新市場開拓・海外販売の強化</b>      |       |
| ・ 営業利益の増減要因(2018年3月期見通し)      | (p7)  | ・ 新市場開拓(偽造防止用紙)           | (p19) |
| <b>第四次中期経営計画(2017～2019年度)</b> |       | ・ 新市場開拓・海外販売の強化           | (p20) |
| ・ 長期的成長ロードマップ                 | (p8)  | ・ 新市場開拓・海外販売の強化(中国ファンシー)  | (p21) |
| ・ 連結数値目標                      | (p9)  | <b>環境関連分野の収益化</b>         |       |
| ・ 第四次中期経営計画の主要テーマ             | (p10) | ・ ESGを意識した取り組み            | (p22) |
| ・ 時系列第三次・第四次中計(営業利益)          | (p11) | ・ 三島工場におけるガスエンジンの導入       | (p23) |
| ・ 投資計画                        | (p12) | ・ TT-除染シート 導入事例(実証試験を含む)  | (p24) |
| ・ 今後の資本政策について                 | (p13) | ・ リニア工事の状況                | (p25) |
|                               |       | <b>基盤事業の強化・変革</b>         |       |
|                               |       | ・ 新商品の開発と商品構成見直し          | (p26) |
|                               |       | ・ 製造工程の見直し・改善             | (p27) |

## 会社概要

- 社名 特種東海製紙株式会社
- 本店所在地 静岡県島田市向島町4379番地
- 設立 2007年4月
- 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 松田 裕司
- 資本金 11,485百万円
- 従業員数(連結) 1,430名(2017年3月)
- 事業内容 紙・パルプの製造、加工、販売
- 工場 三島、島田、岐阜

# 2017年3月期 連結決算概要



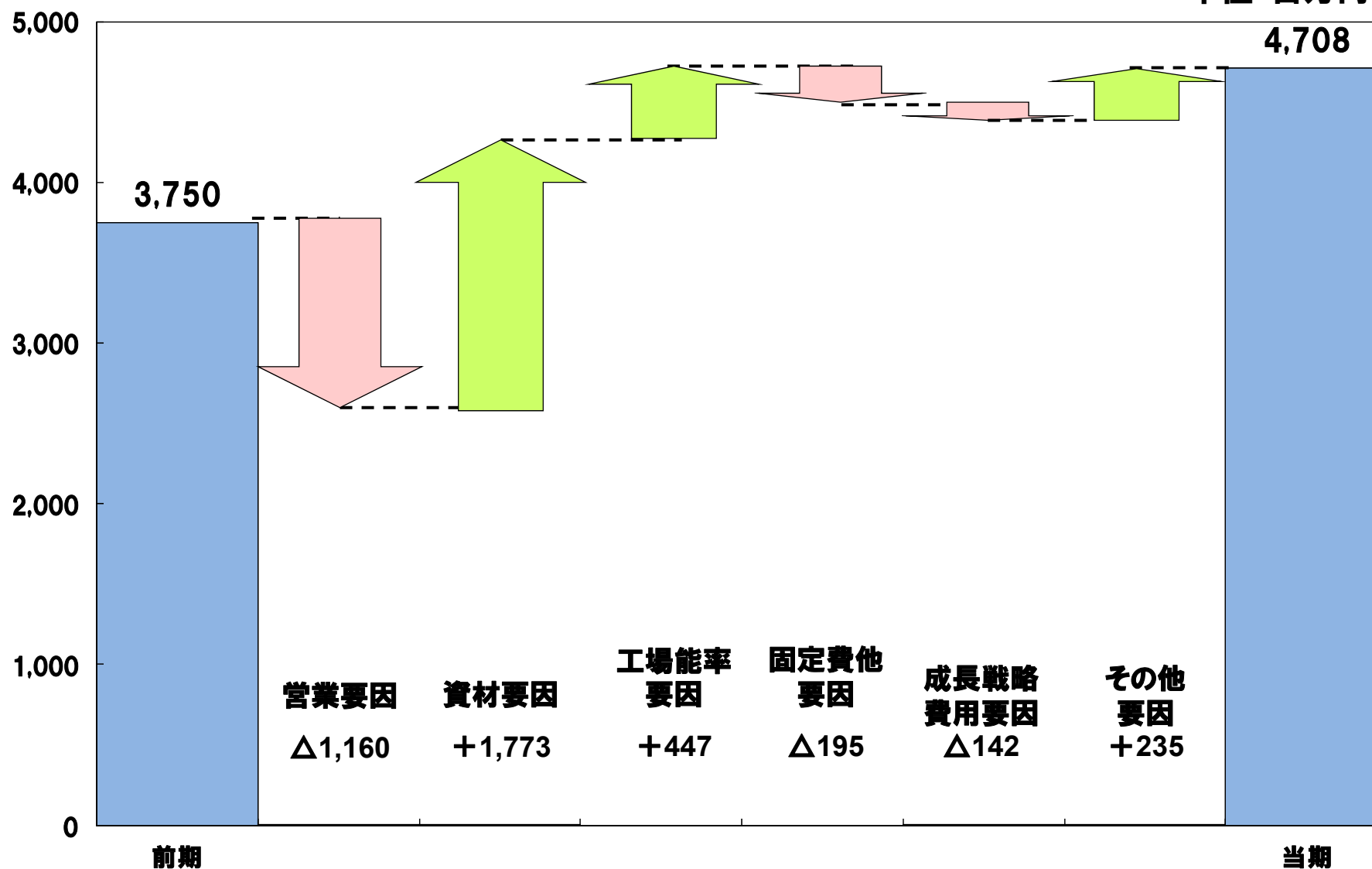
## 期末連結業績実績

(単位:百万円)

|                     | 前年実績   | 当期実績   | 前年変化   |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 売上高                 | 78,460 | 77,718 | △742   |
| 営業利益                | 3,750  | 4,708  | +958   |
| 経常利益                | 3,926  | 5,075  | +1,149 |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | 2,498  | 3,852  | +1,354 |
| 売上高<br>経常利益率        | 5.0%   | 6.5%   | —      |

# 営業利益の増減要因(2017年3月期)

単位:百万円



## セグメント情報

単位:百万円

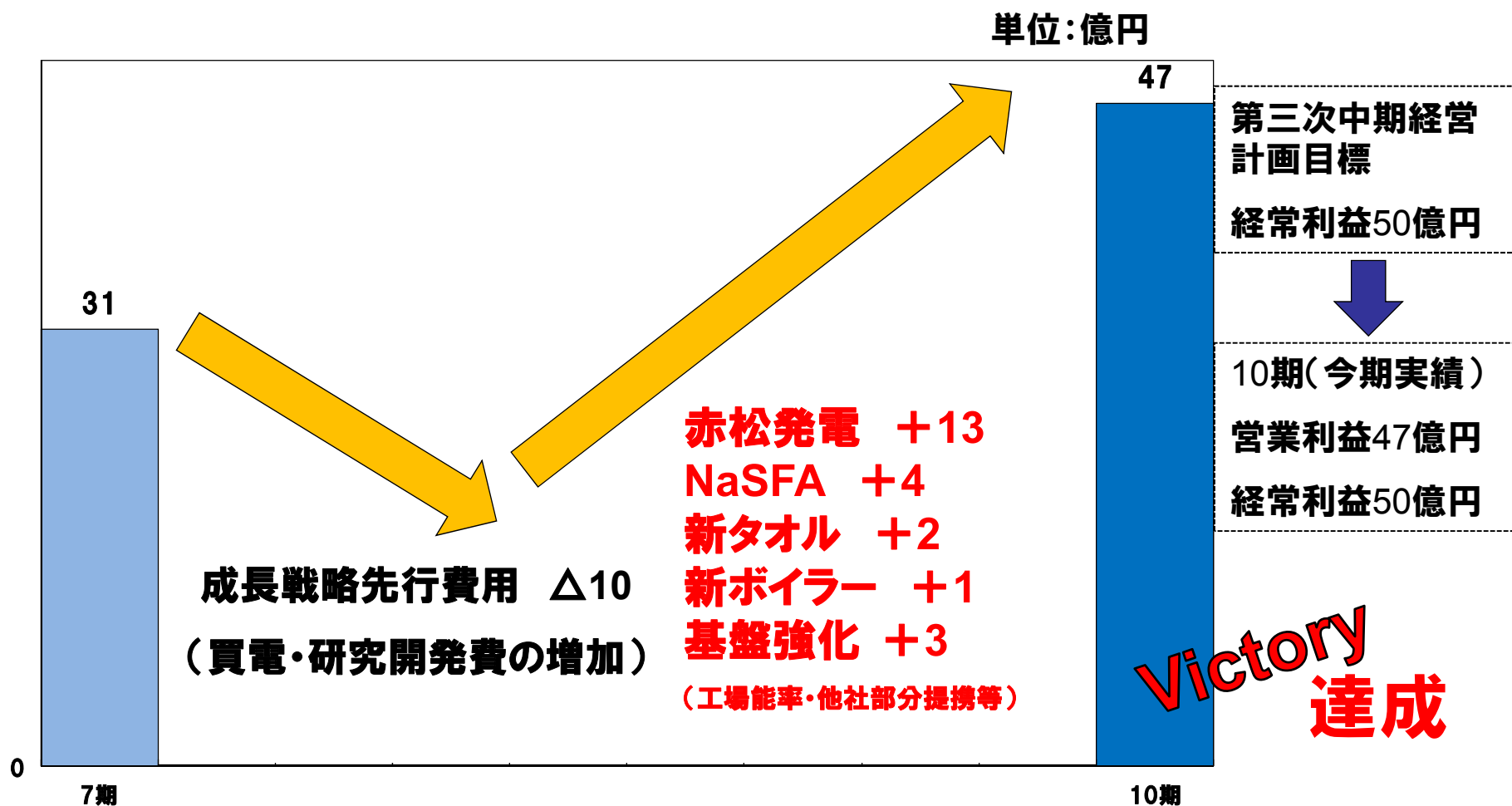
|                |         | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 増減   |
|----------------|---------|----------|----------|------|
| 産業素<br>材業<br>事 | 売 上 高   | 39,785   | 39,266   | △519 |
|                | 営 業 利 益 | 924      | 1,198    | +274 |
| 特殊素<br>材業<br>事 | 売 上 高   | 21,325   | 21,043   | △282 |
|                | 営 業 利 益 | 2,193    | 2,316    | +123 |
| 生活商<br>品業<br>事 | 売 上 高   | 17,217   | 17,222   | +5   |
|                | 営 業 利 益 | 538      | 892      | +354 |
| そ の 他          | 売 上 高   | 5,547    | 6,495    | +948 |
|                | 営 業 利 益 | 320      | 388      | +68  |
| 調 整 額          | 売 上 高   | △5,415   | △6,310   | △895 |
|                | 営 業 利 益 | △226     | △87      | +139 |
| 合 計            | 売 上 高   | 78,460   | 77,718   | △742 |
|                | 営 業 利 益 | 3,750    | 4,708    | +958 |

# 第三次中期経営計画を振り返って (2014～2016年度)



# 第三次中期経営計画振り返り(営業利益)

## 成長戦略における3年間の増減要因



# 2018年3月期連結業績見通し

## 2018年3月期連結業績見通し

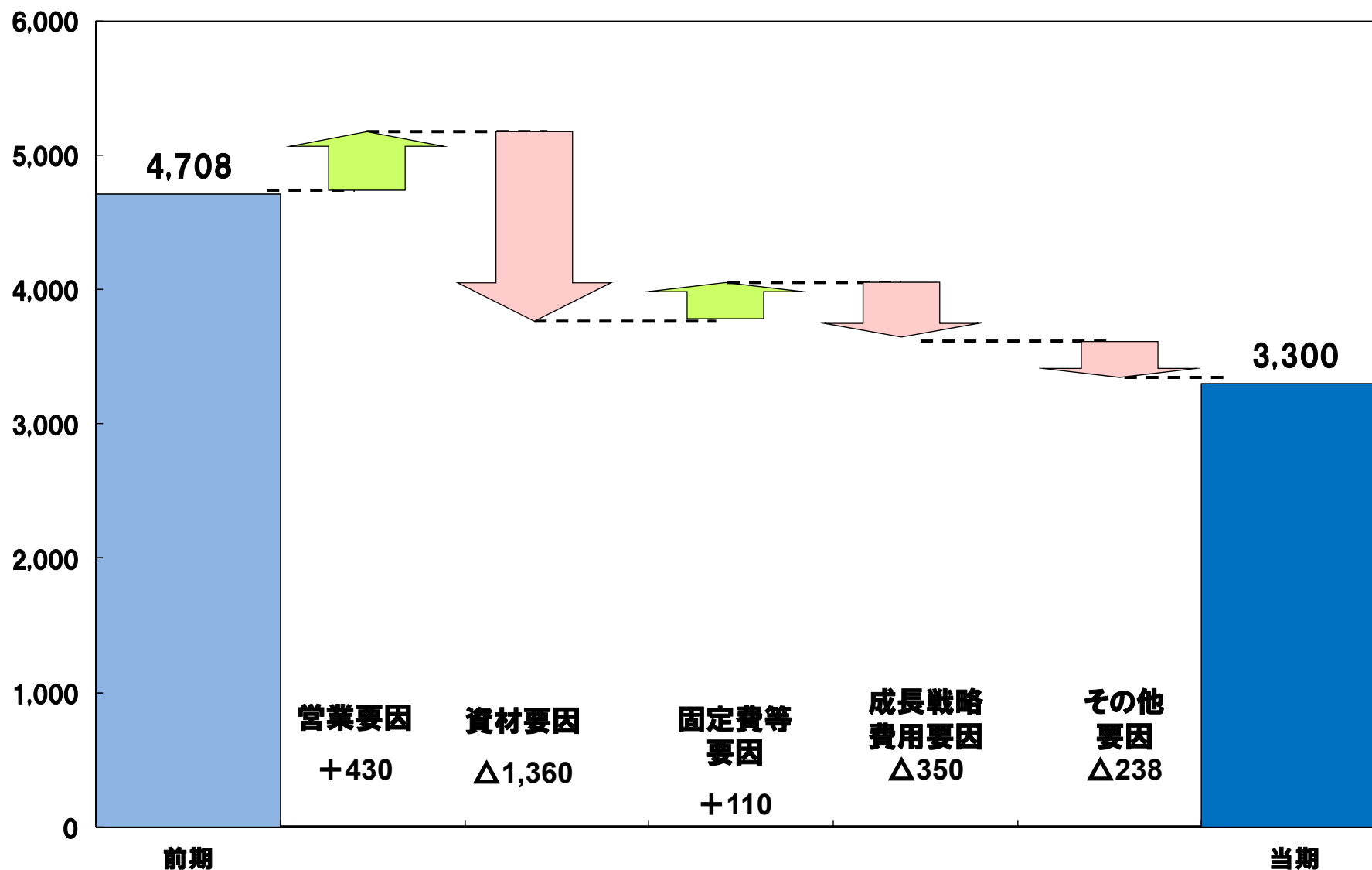
(単位:百万円)

|                     | 当期実績   | 来期見通し  | 前年変化   |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 売上高                 | 77,718 | 78,400 | +682   |
| 営業利益                | 4,708  | 3,300  | △1,408 |
| 経常利益                | 5,075  | 3,600  | △1,475 |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | 3,852  | 2,300  | △1,552 |
| 売上高<br>経常利益率        | 6.5%   | 4.6%   | —      |

前提 為替レート 上期115円/US\$ 下期110円/US\$  
原油価格(ドバイ) 上期57\$/B 下期60\$/B

# 営業利益の増減要因(2018年3月期見通し)

単位:百万円



# 第四次中期経営計画 (2017～2019年度)

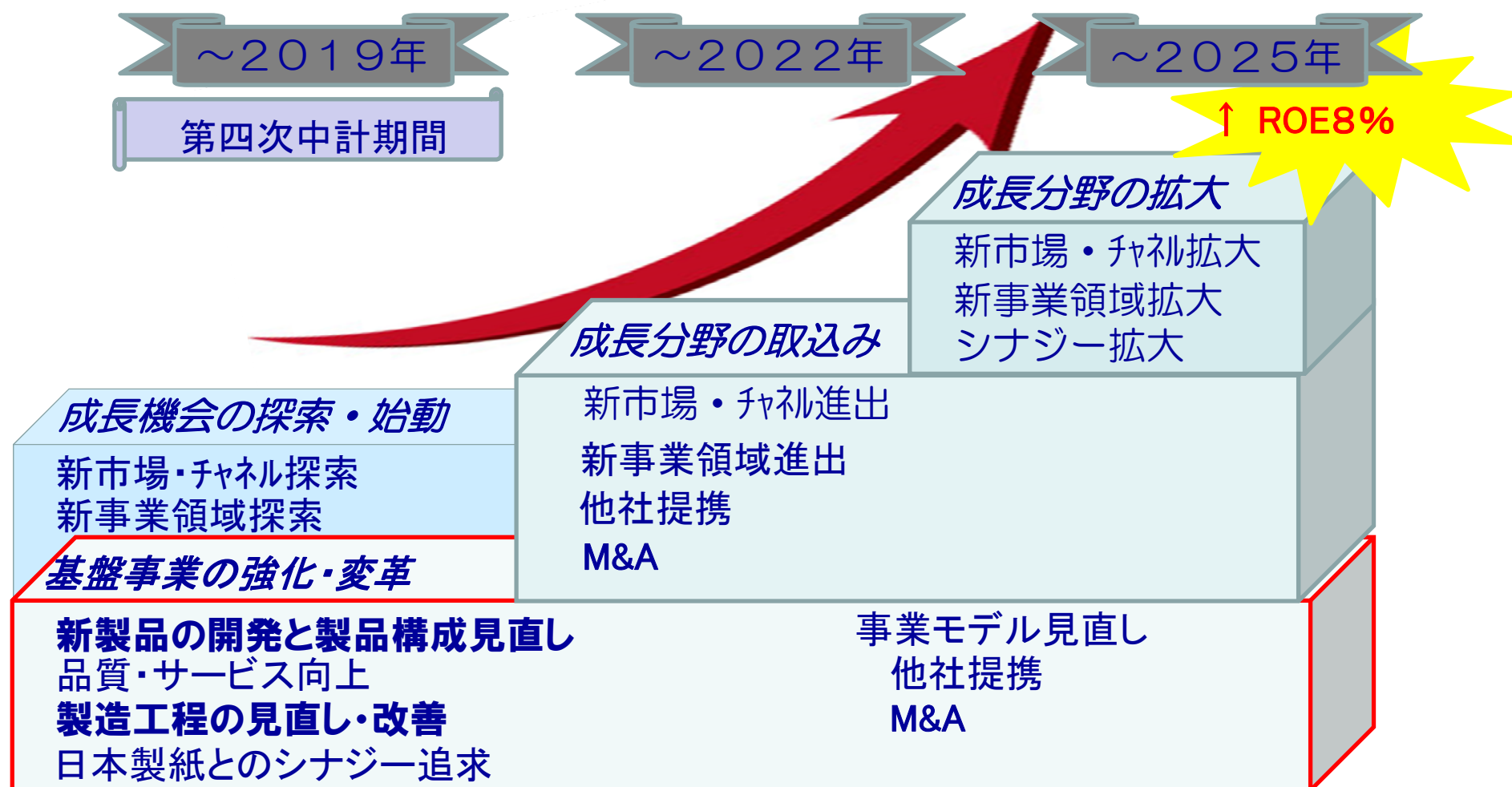
NEXT 10  
～ 次なる成長 次なる挑戦 ～

特種東海製紙株式会社



# 長期的成長ロードマップ

第四次中計は、10年後を見据えた成長へのプロローグ





## 連結数値目標

10年後を見据えた第四次中期経営計画におけるマイルストーン

(億円)

|       | 現 状       | 2019年度   | 10年後  |
|-------|-----------|----------|-------|
| 売上高   | 777       | 850      | 1,200 |
| 営業利益  | 47        | 55       | 100   |
| 営業利益率 | 6.1%      | 6.5%     | 8.3%  |
| ROE   | ※<br>3.5% | 5.0～6.0% | 8.0%  |

※ROEは一過性要因である特別損益の影響で大きく変動するため、  
前中計期間（2014～2016年度）の平均値を『現状』とした

## 第四次中期経営計画の主要テーマ

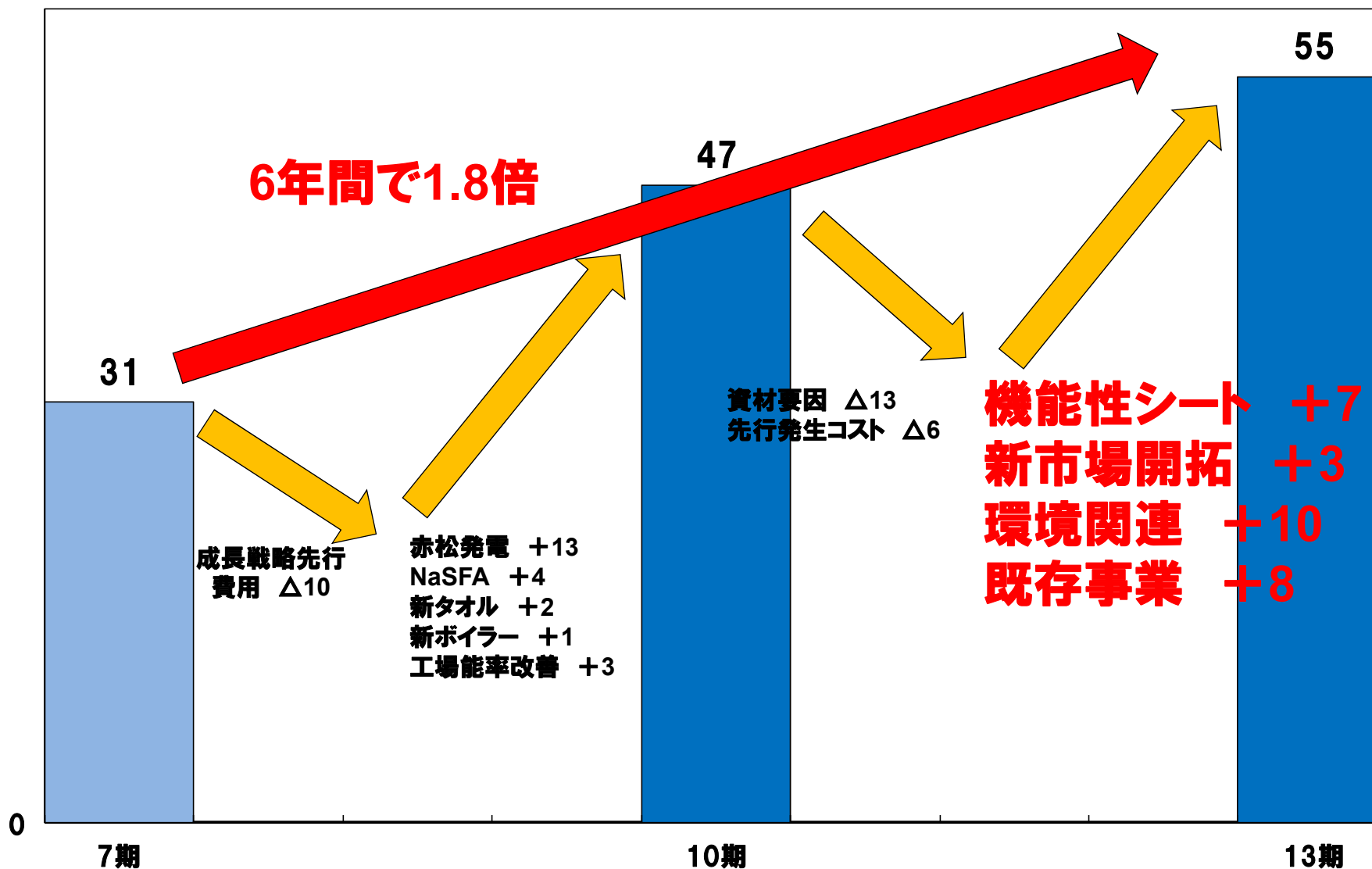
|            | 主 要 テ ー マ                                                                            |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 成長戦略       | <div> <div>高機能性シート分野への挑戦</div> <div>新市場開拓・海外販売の強化</div> <div>環境関連分野の収益化</div> </div> |
|            |                                                                                      |
|            |                                                                                      |
| 基盤事業の強化・変革 | 日本製紙(株)との合併シナジーの追求                                                                   |
|            | 新製品の開発と製品構成見直し                                                                       |
|            | 製造工程の見直し・改善                                                                          |



※太字項目は次ページにて収益改善効果を表示

# 時系列第三次・第四次中計(営業利益)

単位:億円



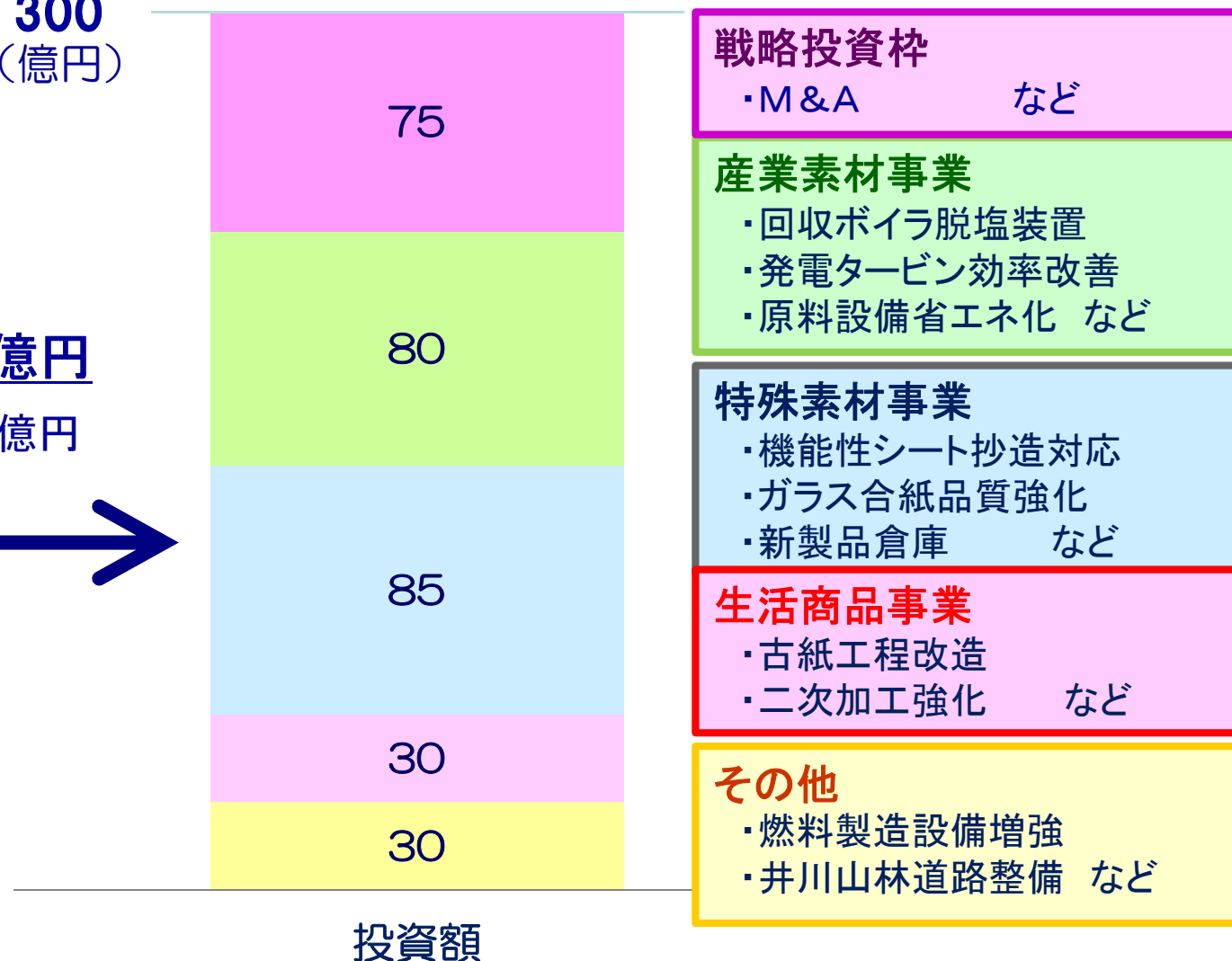
# 投資計画

主な投資は“次の成長機会の土台作り”と“基盤事業の強化・変革”

**300**  
(億円)

〔主な資金の調達〕

- 外部調達 60億円
- 減価償却費 210億円



# 今後の資本政策について

## 配当性向

- 短期的な収益結果にとらわれない安定配当政策を基本とする。
- 安定配当レベルは、利益水準の増加トレンドが達成出来た場合、配当性向30%を目線に底上げを検討していく。

## 総還元性向を意識した経営

- 配当性向に加え、中期的な視点においては、総還元性向も考慮した株主重視の経営へ。

## 自己株式の消却

- 自己株式の保有についてはM&A時の対価等の有効利用を意識するも、過剰な保有は避け、追加取得があった場合は消却を検討する。

## 第四次中計の成長戦略

# NaSFA

開発の方向性は、引き続き  
NaSFAを中心として行う。

① Na : Nano technology (ナノテクノロジーから広がる新たな可能性)  
⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

② S : Security (偽造防止技術によるグローバル展開)  
⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入  
⇒海外偽造防止用紙の検討

③ F : Fusion (技術融合による新市場の創造)  
⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合

④ A : Art (新規加工技術による挑戦)  
⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減

## 成長機会創出

### 当社の強みを生かした事業展開

#### 1. NaSFAに基づく高機能性材料のシート化事業

- ① 高機能分野への挑戦
- ② 新市場開発・海外販売の強化

#### 2. 特徴ある資産を生かした事業

- ① 環境関連分野の収益化

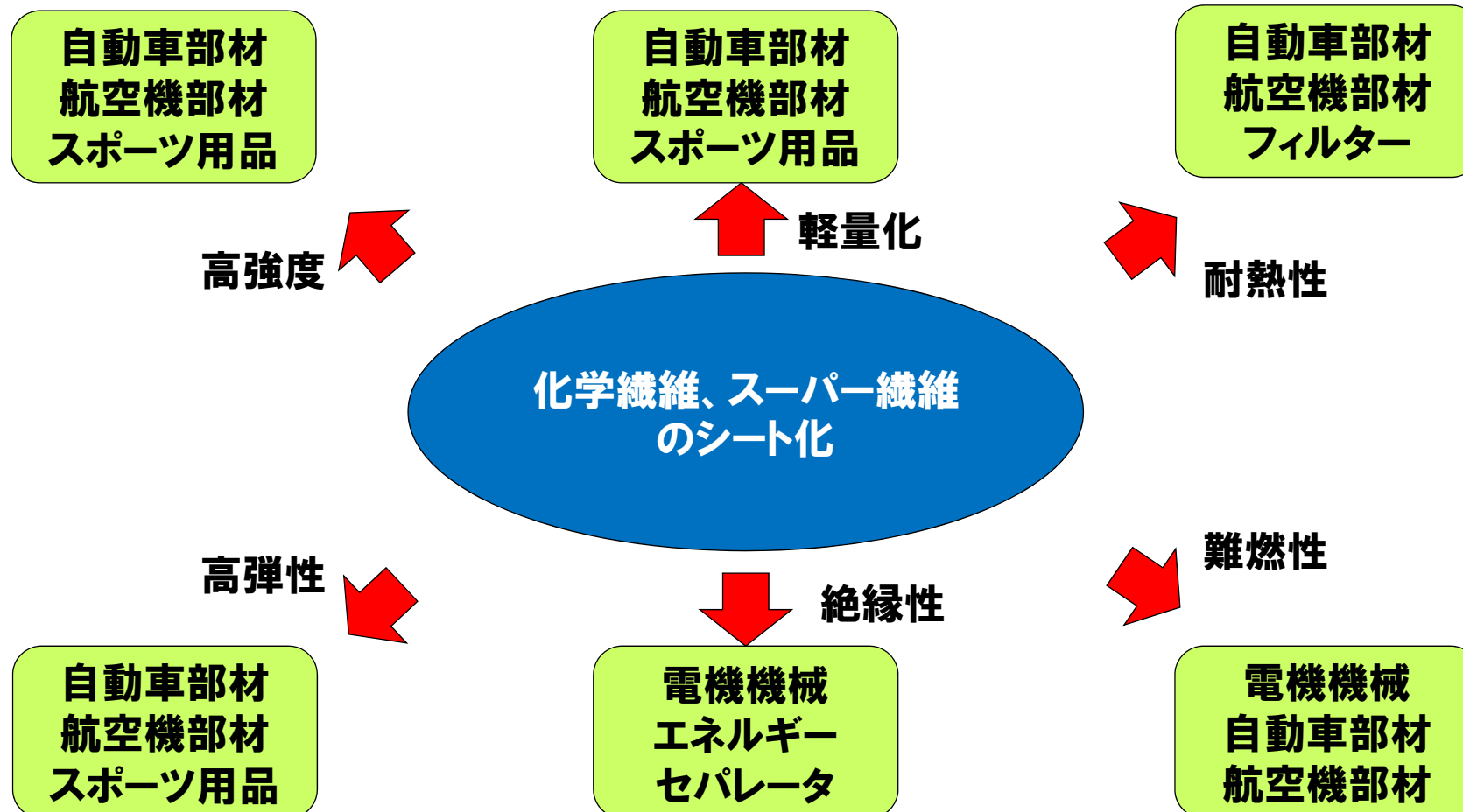
# 紙を超える高機能性シート分野への挑戦



# 高機能な合成繊維のシート化

何を混ぜるかにより、様々な機能を持たせる  
具体的な内容は今期中に外部リリース発表予定

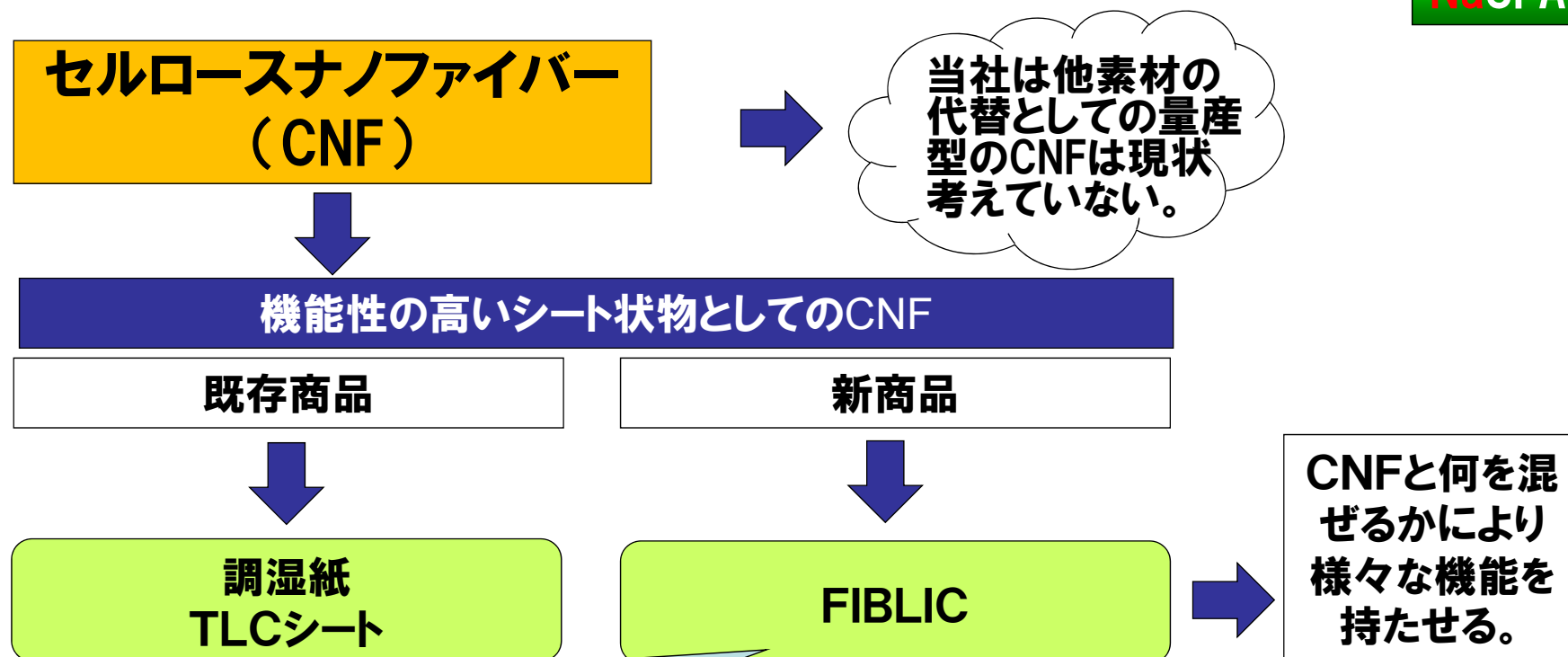
NaSFA



第四次中計にて、4億円強の利益を見込む。

# セルロースナノファイバーのシート化

NaSFA



## 【現状】

- ① 特定ユーザーに高い評価を得ており、2018年度中の製品化を狙う。
- ② 課題の強度アップについてはクリアした。2018年度中の採用に向け、仕様を決定する段階。
- ③ よって、仕様についての微調整を行っている。

## 【今後の展望】

さらなるユーザーの獲得に向け検討を続けていく。

**新たな設備対応を行うと、シート状のCNFの量産体制が出来上がる見込み。**

**第四次中計にて、2億円弱の利益を見込む。**

# 高機能性シート分野への挑戦

## ガラス合紙の取組み状況

NaSFA

### ガラス合紙の環境

- ・ 今後、液晶テレビの大型化に伴い、液晶パネルの面積需要は増加する。
- ・ 特に北米と中国は3%程度伸びると予測する。
- ・ 液晶パネルの生産拠点は中国にシフトしつつある。  
(生産の中心は、日本⇒台湾・韓国⇒中国へと移りつつある。)
- ・ 中国企業は製品の歩留まりを重視しており、ガラス合紙の品質に対する要求水準も高い。

### 対応

- ・  $\mu\text{m}$ レベルの微小異物を取り除く技術の確立による更なるクオリティアップを図る。

第四次中計にて、2億円強の利益増加を見込む。

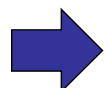
# 高機能性シート分野への挑戦

NaSFA

トライフにおけるラミネート加工

紙や紙以外のシート状物にラミ加工することにより新たな機能を持たせる。

トライフ本社工場

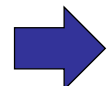


薄物へのラミ加工に対応

紙：通販などの宅配封筒向け（緩衝封筒用）  
食品向け（テイクアウト用、製パン、お菓子など）  
ラミ加工による多機能化（消臭機能等）

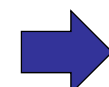
紙以外：不織布等新素材へのラミ加工（工業用工程紙）  
各種建材用途向けの機能性ラミ加工

トライフ富士工場



厚物へのラミ加工に対応

美粧性  
高級感を追求した高輝度なパッケージ用加工板紙  
新しい印刷技術に対応できる新技術の開発など  
食品安全性  
食品容器用機能紙（耐油等）の開発など



GINZA SIX店舗等にて採用



# 新市場開拓・海外販売の強化

### 2020年 東京オリンピック

- 偽造防止用紙の採用を目指し、現在活動中。

### 海外偽造防止用紙

- パスポート用紙や海外紙幣をターゲットとした新チャネルの開拓。
- 更なるセキュリティー技術の高度化による差別化を図り、エージェントを通じた海外への販売を図る。
- 国際会議の参加による、当社知名度の向上。

# 新市場開拓・海外販売の強化

## 海外比率

- 特殊素材事業現状海外比率33% ⇒ 第四次中計最終年度特殊素材事業海外比率40%を目指す。

### 海外偽造防止用紙

NaSFA

- パスポート用紙や海外紙幣をターゲットとした新チャネルの開拓。

### 中国向けファンシーペーパー

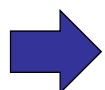
NaSFA

- 中国に向けた新たな独自ブランドの立ち上げ

### 強みを生かした海外展開

NaSFA

- コーヒー濾紙、ラミ加工技術、保護紙等の海外への展開



海外M & Aを視野に入れた積極的な投資の検討

# 新市場開拓・海外販売の強化

## 中国向けファンシーの取組み状況

NaSFA

### 内容

- ・ 中国向けに新たな独自ブランドを立ち上げ、中日特種紙Gの販売網を利用し、**中国のハイエンド向け市場**に切り込む。
- ・ 顧客のニーズ、中国のデザイナーを有効活用した商品開発
- ・ 想定される用途は書籍、パッケージ。
- ・ 9月上市予定。

### 製品名

玄空紙(げんくうし)(仮称) 15色  
 草木紙(くさきし)(仮称) 12色  
 野陶紙(やとうし)(仮称) 10色  
 絨馬紙(ろんまーし)(仮称) 3色

### 今後の目標

- ・ 第四次中計最終年度には海外ファンシーを10億円規模のビジネスとしたい。

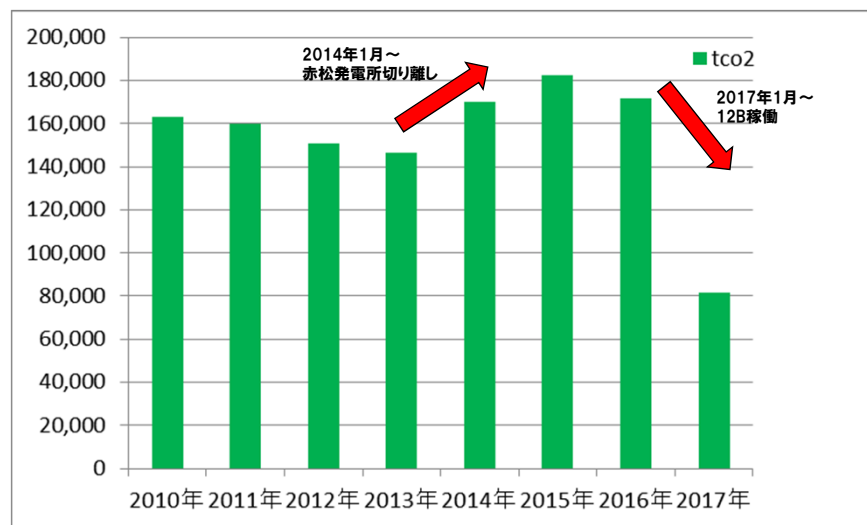


# 環境関連分野の収益化

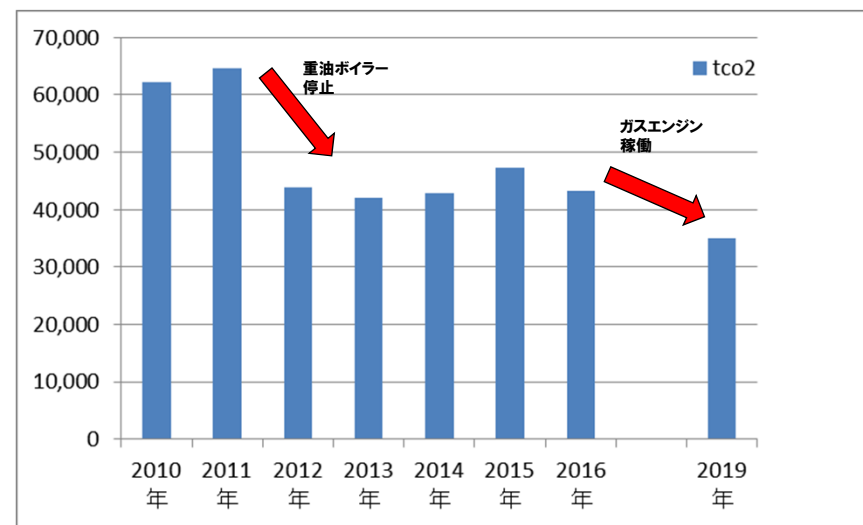
# 環境関連分野 ESGを意識した取組へ

## 概要

引き続きの利益追求を図りながらも同時に環境への配慮を推進  
⇒例えばCO<sub>2</sub>の削減等



島田工場 化石燃料由来CO<sub>2</sub>排出量



三島工場 化石燃料由来CO<sub>2</sub>排出量

島田工場・・・赤松水力発電所の売電開始に伴い、一時的に買電増によるCO<sub>2</sub>増加あるも、バイオマスボイラー(12B)稼働によりCO<sub>2</sub>大幅削減⇒2017年より

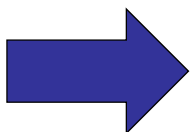
三島工場・・・ガスエンジン稼働に伴うCO<sub>2</sub>削減を予定⇒2019年より

## 環境関連分野

### 三島工場におけるガスエンジンの導入

#### 概要

- ・ 特殊紙の主力工場である三島工場に、投資総額11億円(内、補助金3億円を予定)のガスエンジンを導入する。
- ・ ガスエンジン発電出力 7,800kw
- ・ 2018年12月 試運転開始予定



年間 約7,000tのCO<sub>2</sub>を削減

#### 効果

- ・ 都市ガス購入に伴うコスト増を考慮の上、年間1.2億円のキャッシュメリットを見込む。

## 内容

- ・ 放射能汚染地域の復興への貢献のため、放射性物質を吸着するシートを開発。
- ・ 不織布間に特殊ゼオライトを散布し、セシウムおよびストロンチウム除去率が95%以上。
- ・ 縫製、プリーツなど用途に応じた形状に加工可能。

## 導入状況

|                                  |     |                     |  |  |                       |
|----------------------------------|-----|---------------------|--|--|-----------------------|
| ① 7～8期                           |     |                     |  |  |                       |
| ・ 最終処分場 漏出防止シート（中部地方）            | 4ヶ所 | 1,150m <sup>2</sup> |  |  |                       |
| ・ 汚染水フィルター（福島県内、株式会社アトックス、JAEA他） | 5件  | 670m <sup>2</sup>   |  |  |                       |
|                                  |     |                     |  |  | 計 1,820m <sup>2</sup> |
| ② 9期                             |     |                     |  |  |                       |
| ・ 最終処分場 漏出防止シート（中部地方）            | 1ヶ所 | 900m <sup>2</sup>   |  |  |                       |
| ・ 汚染水フィルター（株式会社アトックス）            | 1件  | 50m <sup>2</sup>    |  |  |                       |
| ・ 漏出防止土嚢（電力会社）                   | 2件  | 200m <sup>2</sup>   |  |  |                       |
|                                  |     |                     |  |  | 計 1,150m <sup>2</sup> |
| ③ 10期                            |     |                     |  |  |                       |
| ・ 最終処分場 漏出防止シート（関東地方）            | 1件  | 600m <sup>2</sup>   |  |  |                       |
| ・ 汚染水フィルター（株式会社アトックス）            | 2件  | 70m <sup>2</sup>    |  |  |                       |
| ・ 漏出防止土嚢（電力会社）                   | 1件  | 300m <sup>2</sup>   |  |  |                       |
| ・ 森林内放射性物質吸着シート（福島県内）            | 1件  | 1,650m <sup>2</sup> |  |  |                       |
|                                  |     |                     |  |  | 計 2,620m <sup>2</sup> |

◎ 中間貯蔵向け 3～5万m<sup>2</sup> および 電力会社向けの新規引合いもあり、  
11期は売上的大幅アップに向け精力的に活動を計画。

# 環境関連分野

## リニア工事の状況

### 内 容

#### 【JR東海の計画】

- ・静岡県区間(当社社有林)は、すべて地下をトンネルで通過
- ・社有林では、本線トンネル工事と導水路トンネルの工事が行われる計画

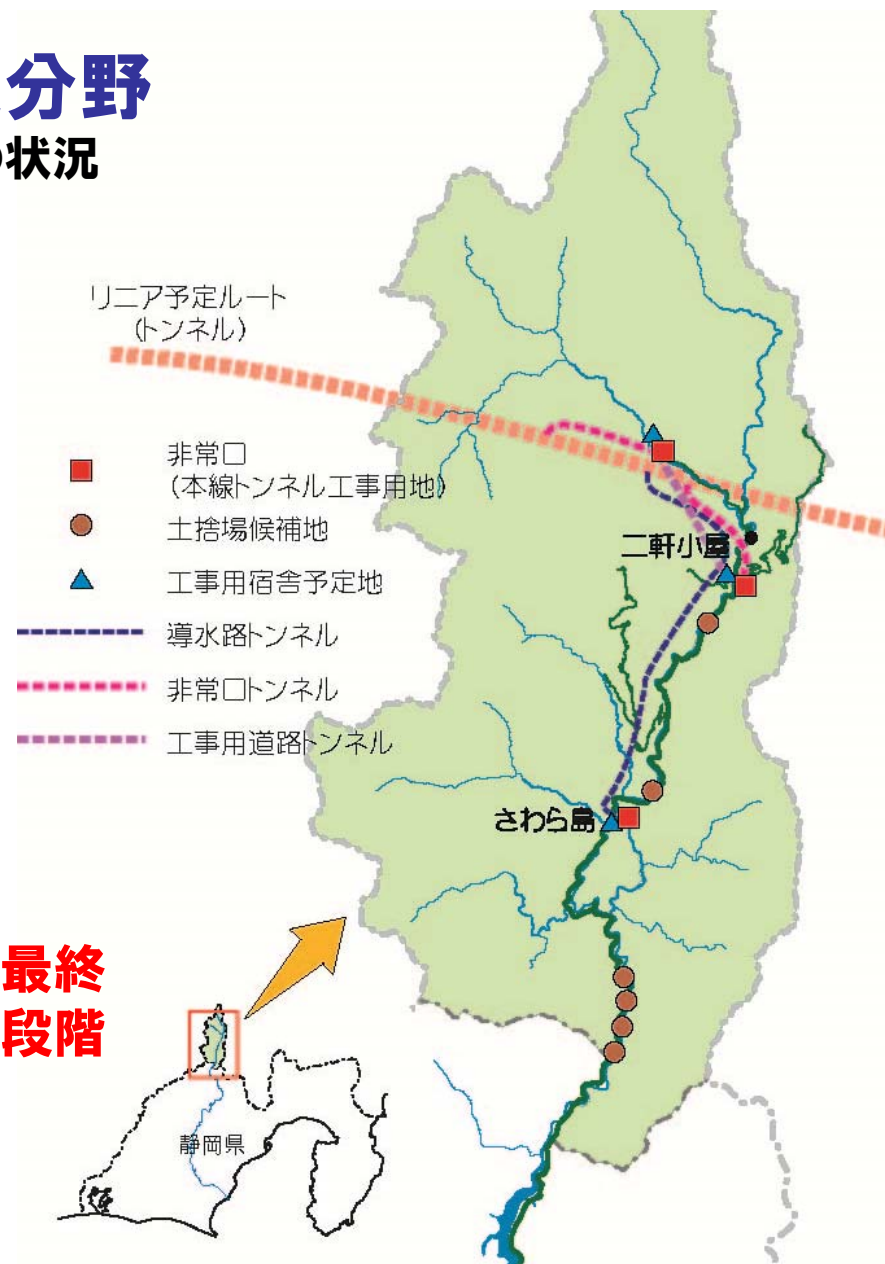
#### 【当社の対応】

自然環境の保全

地域振興と  
ユネスコエコパークへの協力

工事用地・宿舎用地・土捨場  
等提供および工事受注による  
当社収益への寄与

JR東海と最終  
的な交渉段階



工事による収益認識時期⇒2018年度からの本格的な収益認識を見込む。

# 基盤事業の強化・変革

# 新商品の開発と商品構成見直し

NaSFA

## 内容

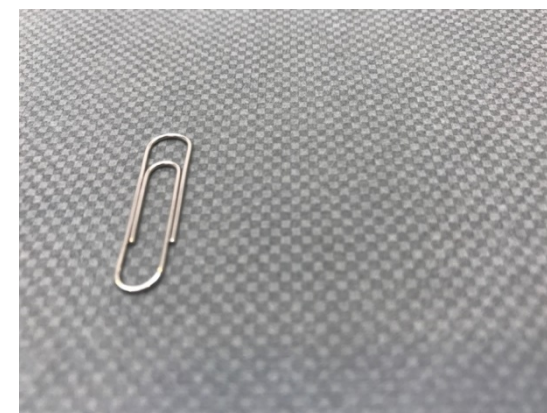
- 2015年 2月 高級印刷紙「エアラス」の上市
- 2016年 7月 パッケージ用途を目的としたファンシーペーパー「TSギフト」の上市
- 11月 柔らかな質感を出したファンシーペーパー「レザック16」の上市
- 2017年 上期 普遍的な市松模様を具現化したファンシーペーパー「いちまつ」の上市  
(予定)
- 今後 代表的ファンシーペーパー「タント」の発売30周年に基づき、  
汎用的ファンシーの開発、展開

## 今後の展開

ダイナミックな商品プランの再構築



更なる特殊印刷用紙における活性化と寡占化を図る。



ICHIMATSU (いちまつ)

## 内容

- **多品種小ロット生産におけるコスト削減の検討**  
抄紙技術と加工技術を如何に効率良く組み合わせるか？
- **最終商品の加工へのシフト等、より川下化への検討**  
エンドユーザーに近い商品体制へ
- **在庫政策、流通政策の見直し**  
エンドユーザーに近い販売体制へ





**お問い合わせ先：財務・IR室**

**〒104－0028**

**東京都中央区八重洲2－4－1  
ユニゾ八重洲ビル**

**Tel 03－3281－8581**

**Fax 03－3281－8591**

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がありますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。